

| | |
|------|------------------------------------|
| 研究室名 | 食品分析学研究室、先端機器分析センター（兼任）学会発表 |
|------|------------------------------------|

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

| | |
|------|---|
| 発表時期 | 2019年 |
| 学会名 | 日本食品科学工学会 第66回大会 |
| 演題名 | ポークチョップ中のスフィンゴミエリンのイメージング質量分析法を用いた分布解析 |
| 発表者 | ○榎元廣文、竹田志郎、八田一、財満信宏 (登壇者には○、本学教職員、研究員にはアンダーライン) |
| 内容 | スフィンゴミエリンは豚肉中の主要なスフィンゴリン脂質であり、大腸がん抑制作用などが示唆される機能性脂質である。これまで、豚肉中のスフィンゴミエリンの定量は行われてきたが、豚肉中の組織ごとの含量はほとんど調べられていない。そこで、本研究では、質量分析イメージングを用いて、豚肉中の各組織における相対的な含量を調べることができた。以上、質量分析イメージングは、豚肉中のスフィンゴミエリンの含量の組織間比較に有効な手法であることが示された。 |